

クラウド独自の優れた機能を業務に取り入れる

モジュール 1 の演習

目標

- 日常的なタスクの中で、クラウドテクノロジーの優れた機能を使用できる機会を特定する。
- 最大の価値の創出または費用の削減を実現できる機会を見出す。

手順

1. 日常的に行っているタスクのうち、多くの時間をかけているものを 10～20 件リストアップします。
2. 選り出したタスクを、コア、サポート、自由裁量、ノイズの 4 つのカテゴリに分類します。
3. 各タスクにかけている時間や費用を大まかに求めます。クラウドテクノロジーの 5 つの優れた機能（共同作業、認識、分類、推奨、予測）のいずれかを適用できる場合は、各タスクに割り当てます。
5. Google Cloud テクノロジーを利用することで削減または獲得できる時間や費用を見積もります。
6. 振り返りの質問に回答します。

モジュール 1 の演習

多くの時間をかけている日常的なタスクを 10～20 件リストアップします。

モジュール 1 の演習

タスクを以下のカテゴリに分類し、タスクごとにクラウド導入の前と後の価値を評価します。

タスク	タスクあたりの 関連費用	取り入れるクラウド テクノロジーの優れた 機能（認識、分類、 推奨、予測、または共 同作業）	削減が見込める費用 または時間、新たな 価値創造の機会
コア:自分の役割において中心的なタスク（例: チームの管理、売上の予測、メンバーのトレーニング）			
サポート:他のメンバーが各自の業務を遂行できるようにするためのタスク（例: 対象分野の			

専門知識の提供)			
自由裁量:時間またはリソースを投入して遂行すべきかどうか、それをいつ行うべきかの判断が必要なタスク			
ノイズ:定期的に発生するものの、通常は注意を直接向ける必要がないタスク			

モジュール 1 の演習

以下に示す振り返りの質問に回答します。

- 1.全体的に見て、現在最も多くの時間や費用をかけているのはどのカテゴリのタスクですか。
また、クラウド独自の優れた機能を利用した場合に最大の効果が得られそうなカテゴリはどれですか。
- 2.表全体を見たとき、クラウドテクノロジーによって完全に排除されるのはどのタイプのタスクですか。クラウドテクノロジーの優れた機能を利用できる場合に、すぐに費用をかける可能性が高いのはどのタイプの課題またはタスクですか。
- 3.他に何か気付いたことはありませんか。この演習を行って新たに気付いたことは何ですか。
引き続きこのコースを受講しながら、その気付きをビジネスケースにどのように生かせるかを考えてください。